

日本人父が日本人母の子を認知する場合の記載例

認知届

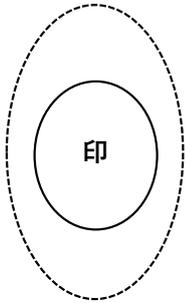
令和 XX 年 XX 月 XX 日届出

在メルボルン日本国総領事 殿

< 記載の際のの注意事項 >

- 届出はすべて日本語（漢字・カタカナ・ひらがな）で書いてください。
- 消えやすいペン（消えるペン）や鉛筆等では書かないでください。
- 届出日は、窓口で手続きする場合は届出をする日を、郵送する場合はポストに投函する日を記載してください。
- 間違えたときは、修正液などは使用せず、訂正箇所を線で消し、押印または拇印してください。

South Australiaは「南オーストラリア」と記載してください。



(よみかた) 氏名	認知される子			認知する父	
	が い む 氏名	は な こ 氏名	父母との 続柄	ざ い が い 氏名	た ろ う 氏名
氏名	外務	花子ローズ	長 <input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	在外	太郎
生年月日	令和XX 年 XX 月 XX 日			平成XX 年 XX 月 XX 日	
住所	オーストラリア連邦 ビクトリア州 メルボルン, パーク通り570			同左	
	世帯主の氏名 在外 太郎			世帯主の氏名 同左	
本籍 (外国人のときは 国籍だけを書いてください)	東京都千代田区霞が関 二丁目2			神奈川県小田原市谷津 38	
	筆頭者の氏名 外務 省子			筆頭者の氏名 在外 一郎	
認知の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 任意認知 <input type="checkbox"/> 遺言認知 (遺言執行者 年 月 日就職)			<input type="checkbox"/> 審判 年 月 日確定 <input type="checkbox"/> 判決 年 月 日確定	
子の母	氏名 外務 省子			平成 XX 年 XX 月 XX 日生	
	本籍 東京都千代田区霞が関二丁目2			番地番	
その他	筆頭者の氏名 外務 省子				
	<input checked="" type="checkbox"/> 未成年の子を認知する <input type="checkbox"/> 成年の子を認知する <input type="checkbox"/> 死亡した子を認知する <input type="checkbox"/> 胎児を認知する 令和 XX 年 XX 月 XX 日 オーストラリア連邦 ビクトリア 州の方式により 認知成立、ビクトリア 州当局作成の認知証書添付。				
届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> その他()				
	住所 オーストラリア連邦ビクトリア州メルボルン, パーク通り570				
署名 (※押印は任意)	本籍 神奈川県小田原市谷津38			番地番 筆頭者の氏名 在外 一郎	
	署名 在外 太郎			平成 XX 年 XX 月 XX 日生	

楷書体で署名してください。押印する場合は右手の親指で拇印でも可。